

広瀬川通信

2014. 6. 6

発行：特定非営利活動法人 広瀬川の清流を守る会

〒982-0011 仙台市太白区長町一丁目2-16-201

☎022-247-6522 ☎022-290-3205

水温が上がった初夏の広瀬川に若アユが遡上してきました。
数多くの若アユが広瀬橋の周囲で見られ、元気に石ゴケを食べています。
いかがお過ごしでしょうか。

さて、5/29 国交省仙台河川国道事務所、仙台市の来賓を迎え、第14
回通常総会が開催されました。25年度事業報告、26年度事業計画予算
並びに、高橋成久氏理事選任について全議案が承認されました。終了後は、
広瀬川に対する思い出話などがあり、和やかな懇親会となりました。
今年度も皆様のご協力を基に充実した活動となるようお願い致します。



(総会 たいはくくる展示ホール)

<5月報告>

1. 広瀬川清掃 5月10日 郡山堰 ～ 広瀬橋下流JR鉄橋



郡山堰から広瀬橋下流JR東北鉄橋まで清掃
のごみ50袋回収。アユ遡上を観察。参加42名

2. 理事会・総会 5/29 太白区中央市民センター 14回通常総会 出席21名 懇親会20名

← (5/10) 清掃・広瀬橋上下流

<6月予定>

1. 定期清掃 6月14日(土) 午前10時～ 広瀬橋集合 長靴、軍手、火ばさみ持参

2. ホタルツアー (10名先着順・4名以下中止) 募集中

6月28(土)～29(日) 小野川温泉(1泊) 会費1万2千円

ゲンジボタルを見ながら温泉で心と体をリフレッシュします。参加締切(6/17)

※) 電話・ファックス・メールでお申込み下さい。

【広瀬川追想】 (三原良吉著書「広瀬川の歴史と伝説」から)「舟丁と堰場、宮沢渡し」(編集)

昔なつかしい宮沢渡しは、今の宮沢橋の下流にあった。二百年以上前の宝暦以前から渡し船があり、幕末の頃山形城下三日町(現在八日町)の真言宗誓願寺の寺侍の林藤助は、山形藩から仙台城下をさぐる隠密を命じられ、嘉永4年(1851年)12月、伊勢参りに化けて仙台城下に潜入。宗禅寺にわらじを脱ぎ、使命を果たして山形に帰ったが、戦争状態になって戦に駆り出されるのはまっぴらごめんと妻と3人の娘を連れて隠密時代の仙台へ。そして、また世話になった宗禅寺の厄介となり、文久2年(1862年)4月、舟渡しの役目を得て、ヤリからサオへ「舟が出ますよう」と川の渡世に更正した。これが宮沢渡しの復興であった。

ホタルツアー参加申込書(会社名も記入)

氏名	年齢	住所	電話番号
氏名	年齢	住所	電話番号